

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成25年11月14日 (2013.11.14)

【公表番号】特表2012-527407(P2012-527407A)

【公表日】平成24年11月8日 (2012.11.8)

【年通号数】公開・登録公報2012-046

【出願番号】特願2012-511102(P2012-511102)

【国際特許分類】

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 P 13/12 (2006.01)

A 6 1 P 13/02 (2006.01)

A 6 1 P 9/12 (2006.01)

A 6 1 P 37/06 (2006.01)

A 6 1 P 29/00 (2006.01)

A 6 1 K 31/352 (2006.01)

A 6 1 K 31/277 (2006.01)

A 6 1 K 31/166 (2006.01)

A 6 1 K 31/4406 (2006.01)

A 6 1 K 31/455 (2006.01)

C 1 2 Q 1/44 (2006.01)

G 0 1 N 33/15 (2006.01)

G 0 1 N 33/50 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 45/00

A 6 1 P 43/00 1 0 5

A 6 1 P 43/00 1 1 1

A 6 1 P 13/12

A 6 1 P 13/02

A 6 1 P 9/12

A 6 1 P 37/06

A 6 1 P 29/00

A 6 1 K 31/352

A 6 1 P 43/00 1 2 3

A 6 1 K 31/277

A 6 1 K 31/166

A 6 1 K 31/4406

A 6 1 K 31/455

C 1 2 Q 1/44 Z N A

G 0 1 N 33/15 Z

G 0 1 N 33/50 Z

【手続補正書】

【提出日】平成25年9月24日 (2013.9.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

最少 1 つのダイナミン環安定剤、あるいはダイナミン環安定剤のプロドラッグまたは薬学的に許容できる塩の有効量を含む、腎疾患または蛋白尿を特徴とする病気を予防または治療するための組成物。

【請求項 2】

前記ダイナミン環安定剤が螺旋状ダイナミン G T P アーゼインヒビターである、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】

前記ダイナミン環安定剤がダイナミン G T P アーゼ活性のインヒビターでない、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 4】

前記ダイナミン環安定剤がダイナミン環の形成を増進する化合物である、請求項 1 ～ 3 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 5】

前記ダイナミン環安定剤がダイナミン環解体を抑制する化合物である、請求項 1 ～ 4 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 6】

前記ダイナミン環安定剤が、螺旋状ダイナミン G T P アーゼインヒビター類、二量体チルホスチン類、二量体ベンジリデンマロニトリルチルホスチン類、イミノクロメン類、単量体チルホスチン類および 3-置換ナフタレン-2-カルボン酸（ベンジリデン）ヒドラジド類からなる群から選択される、請求項 1 ～ 5 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 7】

前記腎疾患または病気が、ネフローゼ症候群、慢性腎疾患、糸球体疾患、糸球体機能障害、感染後糸球体腎炎およびメサングウム増殖性糸球体腎炎を含む糸球体腎炎、糖尿病性腎症を含む腎症、有足細胞損傷および有足細胞傷害を含む有足細胞機能障害、ポドサイトパシー、有足細胞足突起消失、びまん性メサングウム硬化症、先天性ネフローゼ症候群（たとえば、フィンランド型の（C N S F））、アルポート症候群および異型（A l p o r t +）、微小変化型疾患、巣状分節性糸球体硬化症（F S G S）、崩壊性糸球体腎症、免疫および炎症性糸球体腎症、高血圧性腎症、および加齢性糸球体腎症からなる群から選択される、請求項 1 ～ 6 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 8】

前記疾患または病気が、ネフローゼ症候群、慢性腎疾患、糸球体疾患、有足細胞機能障害、および有足細胞足突起消失から選択される、請求項 7 に記載の組成物。

【請求項 9】

有効量のダイナミン環安定剤、あるいはダイナミン環安定剤のプロドラッグまたは薬学的に許容できる塩を含む、個体の細胞内で、ダイナミン環形成および／またはダイナミン環の維持を増進するための組成物。

【請求項 10】

前記ダイナミン環安定剤が螺旋状ダイナミン G T P アーゼインヒビターである、請求項 9 に記載の組成物。

【請求項 11】

前記ダイナミン環安定剤がダイナミン G T P アーゼ活性のインヒビターでない、請求項 9 に記載の組成物。

【請求項 12】

前記ダイナミン環安定剤が、ダイナミン環の形成を増進する化合物である、請求項 9 ～ 11 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 13】

前記ダイナミン環安定剤がダイナミン環解体を抑制する化合物である、請求項 9 ～ 12 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 14】

前記ダイナミン環安定剤が、螺旋状ダイナミンGTPアーゼインヒビター類、二量体チルホスチン類、二量体ベンジリデンマロニトリルチルホスチン類、イミノクロメン類、単量体チルホスチン類および3-置換ナフタレン-2-カルボン酸（ベンジリデン）ヒドラジド類からなる群から選択される、請求項9～13のいずれか1項に記載の組成物。

【請求項 15】

有効量の少なくとも1つのダイナミン環安定剤、あるいはダイナミン環安定剤のプロドラッグまたは薬学的に許容できる塩を含む、個体の有足細胞機能障害の予防または治療のための組成物。

【請求項 16】

前記有足細胞機能障害が、前記有足細胞の足突起消失を特徴とする、請求項15に記載の組成物。

【請求項 17】

有足細胞足突起の形成を維持および／または誘導するための、請求項15または16に記載の組成物。

【請求項 18】

有効量の少なくとも1つのダイナミン環安定剤、あるいは前記ダイナミン環安定剤のプロドラッグまたは薬学的に許容できる塩を含む、個体の細胞内で、接着斑および／またはアクチン細胞骨格を誘導するための組成物。

【請求項 19】

アクチンストレスファイバーの形成を誘導するための、請求項18に記載の組成物。

【請求項 20】

被検物質を提供すること；

ダイナミン環の形成を増進するのに好適な条件下で、前記被検物質をダイナミン蛋白質とインキュベートすること；および

ダイナミン環の蓄積の増進かつ／またはダイナミン環の解体の抑制が基礎的なダイナミンGTPアーゼ活性を増強するものであって、

前記被検物質が、ダイナミン環の蓄積を増進しかつ／またはダイナミン環の解体を抑制するかどうかを評価すること；

を含む、ダイナミン環安定剤として使用するための被検物質をスクリーニングするためのインビトロ方法。

【請求項 21】

前記ダイナミンインヒビターが、ダイナミン環の蓄積を増進するか、あるいはダイナミン環の解体を抑制するかどうかの前記評価が、基礎的なダイナミンGTPアーゼ活性の増強についてアッセイすることを含む、請求項20に記載のインビトロ方法。

【請求項 22】

ダイナミン環が有足細胞中に維持されかつ／または蓄積するかどうかを評価するために、有足細胞をダイナミンインヒビターで処理することを含む、請求項20に記載のインビトロ方法。

【請求項 23】

ダイナミン環が有足細胞に蓄積するかどうかの前記評価が、ダイナミンインヒビターが有足細胞足突起の形成を誘導するかどうかを決定することによって査定される、請求項22に記載のインビトロ方法。

【請求項 24】

有効量のダイナミン環安定剤、あるいはダイナミン環安定剤のプロドラッグまたは薬学的に許容できる塩で細胞もしくは有足細胞を処理する工程を含む、前記細胞中内でダイナミン環の形成および／もしくはダイナミン環の維持を増進するための、ならびに／または、前記細胞内で接着斑および／もしくはアクチン細胞骨格形成を誘導するための、ならびに／または、前記有足細胞における足突起消失を治療するためのインビトロ方法。

【請求項 25】

ダイナミン環形成および／またはダイナミン環の維持を、それを必要としている個体の細胞で増進するための薬剤の製造における、少なくとも1つのダイナミン環安定剤、あるいはダイナミン環安定剤のプロドラッグまたは薬学的に許容できる塩の使用。

【請求項26】

腎疾患または蛋白尿を特徴とする病気を予防または治療するための薬剤の製造における、少なくとも1つのダイナミン環安定剤、あるいはダイナミン環安定剤のプロドラッグまたは薬学的に許容できる塩の使用。

【請求項27】

接着斑および／またはアクチン細胞骨格形成を、それを必要としている個体の細胞内で誘導するための薬剤の製造における、少なくとも一つのダイナミン環安定剤あるいはダイナミン環安定剤のプロドラッグまたは薬学的に許容できる塩の使用。